

# 教育課程編成委員会

## 2019年度 第2回委員会 議事録

### 1. 日時および場所

日時：2020年2月1日（土）15：00～17：00

場所：修成建設専門学校 129教室 161教室

### 2. 出席者

#### 学外委員

西濱浩次、鍵山昌信、田中義久、辻裕樹、井上久美、東泰紀、佐藤榮一、  
小松原学、中村裕輔、坂入喜代枝、市岡武、壺山和憲、小島章、富山毅、  
榎村吉高、村松雄一郎、森本和真

#### 学内委員

山下裕貴、堤下隆司、見邨佳朗、谷川博康、増田和浩、鍵谷啓太、釜友知與子、  
樋下昌俊、野瀬孝男、明石祥子、上杉敬史

以上 28 名

### 3. 配布資料

資料1－1：2019年度第2回委員会 議事次第

資料1－2：委員一覧

資料1－3：卒業展作品診査関係資料

資料1－4：卒業展2020案内

### 4. 議事次第

#### (1) 開会挨拶

堤下校長から開会挨拶に続き、教育課程編成委員会の概要説明・卒業展作品審査の謝辞があった。

山下理事長から学園の現状報告と110周年記念祝賀会について案内があった。

#### (2) 委員出席確認と挨拶

#### (3) 議事内容説明

##### 1) 卒業展2020作品審査

堤下校長から作品審査結果の説明が行われた。

グランプリ：ジェシカさん(建築)

準グランプリ：逸見さん(建築)、森くん(建築)、上森さん(建築)

##### 2) 令和元年度全学科課程修了報告

各学科長より令和元年度課程修了報告が行われた。

■建築学科（昼・夜）・・・増田委員

- 建築 CG デザイン学科・・・見邨委員
- 空間デザイン学科・・・鍵谷委員
- 住環境リノベーション学科・・・樋下委員
- 土木工学科、建設エンジニア学科・・・野瀬委員
- ガーデンデザイン学科・・・明石委員
- 専科 2 級建築士科・・・釜友委員

### 3) 進路係よりの説明

進路係長上杉委員より本校の進路状況、インターンシップなどの取り組みについての説明があった。

### 4) グループ討議

建築グループ 1：西濱、鍵山、辻、佐藤、坂入、山下、鍵谷、釜友

建築グループ 2：東、中村、井上、市岡、田中、増田、樋下、見邨

土木グループ：小松原、壺山、小島、富山、堤下、野瀬、上杉

ガーデングループ：榎村、村松、森本、谷川、明石

討議項目：建築・・・①一級建築士②BIM/ICT 教育③その他

土木・ガーデン・・・①デジタルスキル②その他カリキュラム

## 建築グループ 1

### ①一級建築士科

- ・一級という資格の重要性、単にこんなことが出来るというライセンスのメリットだけではなく、責任の重さを言語化して学生に伝える必要がある。
- ・トレースよりもエスキスと発表を繰り返すことが有効ではないか。
- ・ポートフォリオ作成の時間をもっと取るべき。

### ②BIM について

- ・自社では 10 年前から BIM (福井コンピューター) を徐々に導入して行っている。現在は企画、計画業務は完全に BIM に移行、実施設計の段階で CAD に変換している。BIM のメリットは圧倒的な速さ、プレゼンテーションでの優位性。国産 BIM を使用しているのは法改正などへの対応の速さ、メンテナンスの容易さにメリットを感じている。
- ・自社では BIM(AutoCAD の Revit)を使用している。学校教育での BIM 教育は時代の要請でもあり望ましい。ただオペレーター教育に終始しないよう、また BIM の考え方を理解させることも有益。手で考えることは重要。
- ・主業務である建物維持管理や長期修繕など、大手ディベロッパーは徐々にデータ化を進めているが業界全体としては遅れている。積算での BIM 活用もしかり。しかし今後は避けて通れないと考えている。
- ・現状企画・計画・設計で BIM(福井コンピューター)を導入している。ゼネコンとしては現在が過渡期と考えており今後 BIM オペレーターは増員していく必要がある。しかし最終的には担当者自身が BIM を使用することになると思う。
- ・材料協会ではカタログの電子化、AR 化なども進めているが、やはりリアルな感覚は大事。いろいろなものを実際手に触れて知ることを教育すべきである。

### ③その他

- ・学生時代と異なり、社会に出てからの知識は実感が伴う。あまり詰込み型にならないように。

## 建築グループ2

### ① 一級建築士科

- ・積算業務上では一級は必要ないが、責任感等の観点から取得を進めている。  
資格の勉強を通じて色々なことを学んで欲しい。
- ・時代の流れを含め、大きなプロジェクトや役所物件において資格が必要。  
待遇は合格時のみ。  
若年層での取得が望ましい。
- ・コンペ等の条件で一級建築士が必要（2名以上）。卒業時に取得済は大歓迎。  
取得後2～3年で辞めてしまうのが多い。  
資格だけではなく、能力的なことやコミュニケーションが大切と感じる。
- ・社員は施工管理技士取得を必須としている。  
行政、デザインビルド、PFI発注の観点から企画（設計）力が必要。  
1級建築士取得となると、人的なサポートはできるが、日建学院や総合資格学院が頼りとするところになる。  
取得において、補助を行い、合格後は毎月の手当てをだしている。
- ・資格（1級建築士）を持っていてあたりまえ。  
取得後辞めてしまう。必要か否かという点が必要である。  
現場にて設計変更等が生じれば法規的なことを含め施工管理ではなく、建築士資格が必要。  
やればやるほど実力がつくのが、働き方改革や親から働かせすぎじゃないかということもある。

### ②BIMについて

- ・2009年がBIM元年といわれるが、積算業界中では、あまり進化はない。  
同業者との話の中で、積算業界においても今後BIM（スペックライター）を取り入れていかなければという方向にはある。  
学校教育の中で取り入れるのはOKだが、使用ソフトはどうなるのか？
- ・年に1・2回BIMの学習会やセミナーがあるが、内装業でベクターワークスを主流としている。AutoCadやJW-Cadの導入も考えている。  
近いうちに「BIM提出」なども考慮すると必要性は有る。
- ・ベクターワークスを使用している。  
「手書き」→「CAD」と時代が流れ「BIM」の時代がやってくる。  
施工分野での「BIM」化が進むと設計でも取り入れていかななくてはならない。  
ソフト等による互換性をなくすことが課題となる。
- ・建設業界はマンパワーであるが、生産性向上や働き方改革の観点から人間に変わる機械化が必要であり、BIM・ICTはかかせないものである。  
若年層においては、たたき上げではなく、BIM・ICTに加えVRの導入により、配筋等の細かな収まりや、躯体の増し打ちやCON数量等の適格化が図れ、考える事や答えを出せ

ないことがなくなり、不明な点がなくなる。

- ・ PC のスペックが必要となる。

ソフトの種類や互換性を考慮すると、まだ少し先の事かと思えるが、学生でできるとなれば、それは OK。

### ③その他

- ・ 内装の方では少し遅れている傾向。

施工管理において、社内・社外的に「安全管理」は最も重要視すべきこと。

- ・ 最先端の技術は必然と身につくが、現場管理者の技術力が低下している。

根本的な基礎教育が必要である。

(例：打ち放し仕上げ=補修ではなく、セパ割りから考えることの重要性)

- ・ 技・AI というのは 1 年経過すると古いものになる。

先輩の姿をみて学ぶことが大切である。

ものづくりにおいて、テクニカルな部分と人（クライアントや近隣）とのやりとり（コミュニケーション）が必要となる。

- ・ 基礎知識の低下がみられる。

留学生の組織（OB・OG 会）づくりをし、国内で情報を一般公開することもいいのではないか。

### 土木グループ

- ・ CAD の基礎知識や基本操作が出来切ることは大切。

- ・ 報告書の作成やプレゼンテーションのため、エクセル、ワード、パワーポイント等のパソコンの基礎スキルは必要。

- ・ 専門の基礎知識に加え、発注者や社内での説明や提案等を行う際に、プレゼン能力やコミュニケーション能力、文章力・国語力が必要。

- ・ 卒業設計で、実務につながる内容のものもあり非常に良いと感じた。

### ガーデングループ

- ・ G 科教育目標である技能検定及び施工管理技術検定、2 つの国家資格取得は、職業教育を行う専門学校として必要不可欠であり、その高い合格率を維持していく教育こそが学生、企業にとって最大の魅力である。

- ・ CAD は元より、Word、Excel の基本操作は身に付けておくべき。

- ・ パース図は 3D 設計ソフトでの製図よりも手描き図面のニーズが高く、伝える・伝わるという観点から手描き製図を教えるべき。

- ・ 造園の基本的な知識・技術に加え、学生それぞれが何かに興味を持ち植物に大変詳しいなど、得意分野を持っている・・・そんな人材を望む。

- ・ 卒業制作\_施工コースの内容については実際に存在する小規模公園を題材とし、現場を知らない学生であっても想像しやすい状況で実施してはどうか？

- ・ 建設 3 分野の学科があることを活かした学科間の授業連携を期待したい。

(4) 次回開催について

日程：2020年10月ごろを予定

場所：修成建設専門学校

内容：令和3年4月入学者適用各学科新カリキュラム要点説明

以上（記録・文責：見邨佳朗 野瀬孝男）